



2021年10月6日

各位

会社名 株式会社 ティーケーピー
 代表者名 代表取締役社長 河野 貴輝
 (コード番号：3479 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役CFO 中村 幸司
 (TEL. 03-5227-7321)

業績予想の修正および公表に関するお知らせ

当社は、2021年4月14日に公表いたしました2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。また、未定としておりました親会社株主に帰属する当期純損益および1株あたり当期純損益についても下記の通りお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

1. 2022年2月期 連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	EBITDA	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株あたり 当期純損益
前回発表予想(A)	百万円 48,000	百万円 5,800	百万円 700	百万円 100	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	43,800	3,600	△1,900	△2,500	△3,900	△98.34
増減額(B-A)	△4,200	△2,200	△2,600	△2,600	—	—
増減率(%)	△8.8	△37.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	43,138	3,073	△2,497	△2,321	△3,503	△93.15

2. 通期連結業績予想の修正および公表の理由

新型コロナウイルスの変異株による感染拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続的に発出され、前回発表予想策定時における当社の想定に対し、貸会議室需要の回復に遅れが生じました。新型コロナウイルスワクチンの職域接種におけるワクチンセンターを開設する等、当社として実施できる新型コロナウイルス収束に向けた施策を鋭意進めてまいりましたが、足元の需要動向を踏まえ、改めて予想を策定いたしました。

(売上高)

前回発表予想策定時において、新型コロナウイルス感染症は2022年2月期末に向け徐々に収束に向かい、これに伴って当社グループの業績も回復に向かうものと想定しておりましたが、前回発表予想時の想定に反し新型コロナウイルス感染症の感染状況は悪化しました。そのため、社会経済活動の正常化は、

2022年2月期末までに大幅に遅れるものと想定を修正いたしました。これに伴い2022年2月期中はTKP単体の受注回復に遅れが生じるものと見込み、前回予想を修正しております。

(EBITDA・営業損益・経常損益)

期初の計画通り、コロナ禍の需要減少や変化に伴い、貸会議室事業における不採算拠点の退店や、料飲事業の縮小による固定費削減、宿泊事業における新型コロナウイルス感染症の軽症者向け一棟貸しの進捗による利益創出等、施策を実施したものの、前回発表予想に対し、上記TKP単体売上高の減少の影響が大きく、前回予想を下回る見込みです。

また、親会社株主に帰属する当期純損益および1株あたり当期純損益については、子会社の再編による税金費用への影響を算定するため未定としておりましたが、一定の見通しが立ちましたので公表いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上